

特別付録

ブルーの閃光がイマドキ☆メイキングのカギを握る!!

OPTION2×エーモン PRESENTS

サイドビューLED



オプションII

NEO STYLE TUNING MAGAZINE

光モノ&電子パーツ装着もこれさえ読めば自由自在!

クルマ電気工作の  
基礎知識

じっくり読んでマイベストを掴め!  
ブレーキパッド  
Catalog



知っておきたい  
ストリーートの捷

JUN.2010  
06  
特別  
定価 700 yen

合法チューン  
完全保存版 Q&A  
スペシャル!

古くはL型エンジン時代のフェアレディZから谷田部での最高速トライアルを駆って来たトライアル。しかし、そんな老舗中の老舗にもかかわらず、トライアルは常にフレキシブルな発想によって魅力的なマシンメイクにチャレンジし続けてきた。常に時代をリードしてきた実力派ショップなのだ。

さらに、トライアルは広大な敷地に大型のピットとショールームを備えており、ハードチューンへの取り組みと同時に、いち早く「数値の高い」チューニングショップから脱却したことで有名。そのため、ショールームにはいつも多くのお客さんが、チューニングやメンテナンスの相談に訪れている。1度でも行ったことがあるひとならわかるように、トライアルってとても活気あるショップなのである。

そして、もうひとつトライアルの特長として挙げられるのが、チューニングベースとしてはあまり見かけることがないベース車を手がけることが多いということ。市販パーツの少ない車種でも豊富なノウハウと高い技術力を武器に、走りを楽しめるマシンに変身させてくれるんだよね。

そのためにピットには常にバリエーション豊かな車種が揃っている。他のショップではお手上げと言われてしまった車種などにも積極的にチャレンジするなど、老舗でありながらチャレンジする精神を忘れないのだ。

さて、そんなトライアルから今回紹介したいのはトヨタ最後のミッドシップカーであるMR-S。このMR-Sはエンジンがターボ化されているんだけど、なんと言っても見どころは完成したばかりのワイドボディだろう。

このボディキットの装着後の全幅はノーマルの1690mmに対し、片側55mmオーバーとなる全幅1800mm。コンパクトなMR-Sはパワーを大幅に上げていくとミッドシップ特有のピークを特性が顕を出してくるけど、ワイド化することによってグンと乗りやすくなるということ。MR-Sにとってのワイドボディ化は、それこそもったい足まわりなどの作り込みをキッチリ合わせこんでやれば信頼性のよさを残しつつ、それを絶対的なコーナリング性能のアップにつなげるこ

## ワイドボディ化は可能か？

とができる非常に効果的なチューニングということだった。

さらに、ルックスに関してはGTマシン風のフンダーラインや各部のダクト配置などによって、非常にレーシーなイメージでまとめられているのが特徴となっていて、特にこのマシンではカーボンファイバーベースにクリアレッドを使ったスタイリッシュな塗りわけがなされているのが印象的。強い光が当たっているときは、カーボン地がよく透けて見えるワザおりのペイントも施されているんだよね。「エアロメイクはとりえずひと段落したので、次はエンジンのリメイクにとりかかる予定になるとんや。MR-SはNAのまま詰めていっても楽しいし、過給器でやるのも刺激があってエエな。もたらにつけ、ミッドシップならではのコーナリングがたまらんし、それをより伸ばすためのワイドボディ化はオススメやね」といふトライアル代表のマッキー牧原。最近、またサーキット走行を再開したらしく、このマシンの仕上がりに興味津々シンシンといった感じだったぞ。



トライアル牧原さん  
「このワイドボディは片側55mmオーバーとなる全幅1800mm。コンパクトなMR-Sはパワーを大幅に上げていくとミッドシップ特有のピークを特性が顕を出してくるけど、ワイド化することによってグンと乗りやすくなるということ。MR-Sにとってのワイドボディ化は、それこそもったい足まわりなどの作り込みをキッチリ合わせこんでやれば信頼性のよさを残しつつ、それを絶対的なコーナリング性能のアップにつなげるこ





OPTION 2  
EXCITING  
CALENDER

1 軽量化ハードトップはFRP製が21万円。カーボン製なども用意されている。スポークを削りながら、チタウムトップでは毎キロも軽量化が可能な「ワイドボディ」に合わせた大型のウィングはボルトナット式。ドライバー側にもエアロパーツ用のエアロキットも用意しているため、さらに軽量化したいところだ。



2 本モデルはリアリアールの構造が独特なリファースト。空気の流るに依りてはフロントに設置したこの空気が車室を駆け巡る予定に設計している。3 6速マニュアルの5速アップシフトが採用されている程度と、とってもシンプルだが仕上げまでして、やはり5速アップシフトが欲しいという方もいる。



4 サイドミラーの配置がスポーティなロックを追求させている。全体的にスーパーGTマシンのようなイメージだけど、ストリートサイズのタイヤに合わせた専用のホイールが用意されている。5 3速マニュアルの5速アップシフトが採用されている。ファンター内の構造を徹底的に作り出すようにしている。さらに、リアウィングのエアロパーツもカスタムやエアロパーツにこだわって、かなりワイドに作り出さず、新設計とした3速アップシフトがない。6 5速アップシフトの5速アップシフトが採用されている程度と、とってもシンプルだが仕上げまでして、やはり5速アップシフトが欲しいという方もいる。

ミッドシップの魅力を最大限に引き出すための秘策  
MR-Sはワイド化でリアル・スポーツへと進化する!

**TRY FORCE MR-S Version Wide**

Produced by TRIAL

資料協力：トライアル 大阪府東大阪市上5丁目1  
073-369-3539 <http://www.trial.co.jp>



# TRY FORCE MR-S Version Wide

Produced by TRIAL



JUN  
**06**

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13

tue wed thi fri sat sun mon tue wed thu fri sat sun

OFFICE  
BUILDING



OPTION 2  
EXCITING  
CALENDAR

3 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

sun tue wed thu fri sat sun mon tue wed thu fri sat sun mon tue wed

PUX  
RIVE

D. Wark's  
RIVE

DPT  
RIVE